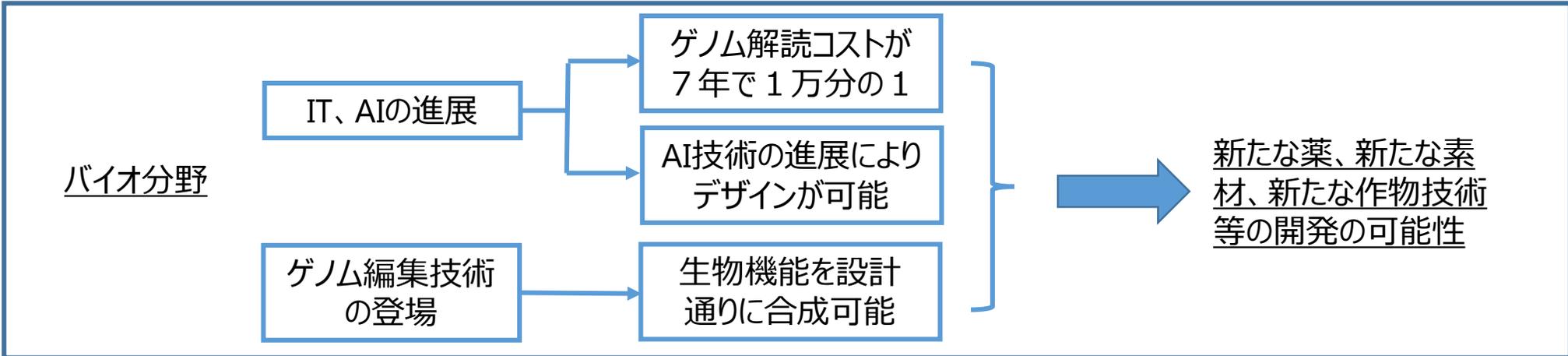
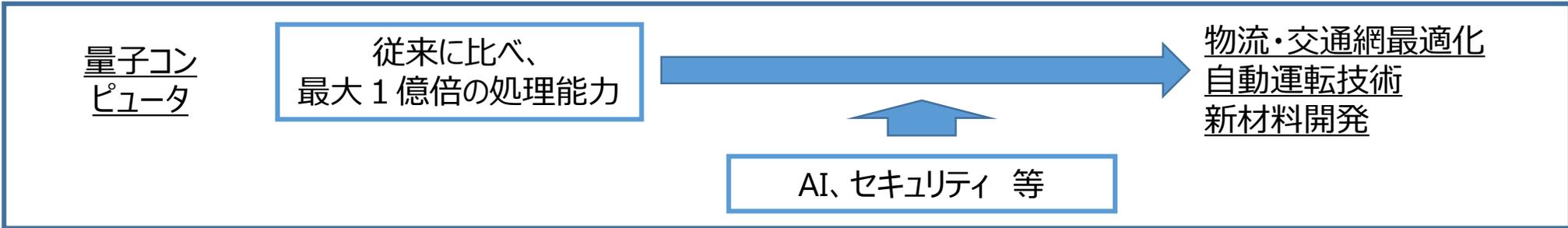


- 従来との比較において基礎研究の成果が製品・サービスに直結。社会を大きく変革することも
- 国境を越えた異分野の研究領域・データ・人材の融合が鍵

項目	過去	現在	実例
所要期間	基礎研究から実装の間に <u>大きな溝</u>	基礎研究の成果を如何に早く実装するかがカギ	○量子コンピュータ：1998年に基本原理が東工大西森教授により提案。2011年にカナダのD-WAVEが商用化 ○CRISPR CAS9：2013年に開発、遺伝子研究の現場では既に実装
研究連携	原則固有の <u>領域に特化</u>	異分野融合が新たな領域を開拓	○バイオ技術：ディープラーニング等によりAI技術が発展したこと、ゲノム解析コストの大幅な低減等によって、大きく進展。



**日本にも破壊的イノベーションの種はある！基礎段階から実装まで一気通貫でスピーディに進めることがカギ！**

# 統合イノベーション戦略（仮称）の目指すもの

○日本発のシーズを破壊的イノベーションにつなげ、ゲームチェンジを興すために

- イノベーションの国際競争に後れを取らない**スピード**
- 最先端の研究を融合し**新分野を開拓**する環境
- 基礎研究から社会実装までを**一気通貫**して推進する仕組みが必要

○スピード感のある一貫した施策の遂行には、

- CSTIが、イノベーションの観点から、多数ある**会議を統合**した司令塔となり、その主導の下、
- 国際競争の中で我が国が占めるべき**立ち位置**を明確にし、
- 政府全体で整合性のある**統合的かつ具体的な戦略**が不可欠

○この戦略の実現には、卓越した**研究力**と**研究基盤**が不可欠

- 過去のしがらみを取り払い、優秀な研究者が存分に力を発揮できる**大学改革**
- 司令塔の下で、AI技術やデータ連携基盤等の**研究情報基盤**の整備を推進

等を抽象論ではなく**具体的な取組**を示すことにより、実行力を向上



**世界に先駆けてSociety5.0の本格実装へ**